県立高校入試問題〔社会〕を活用した授業

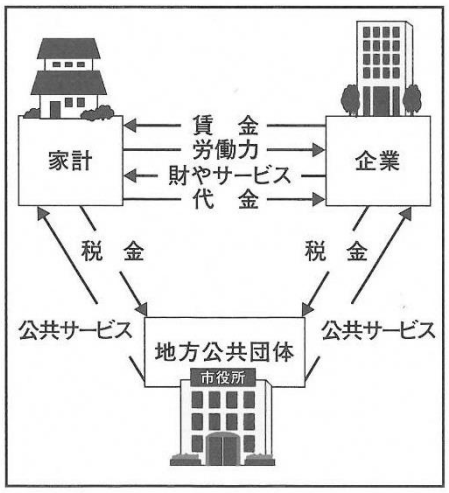
平成30年度福岡県立高等学校
入学者選抜学力検査問題

6 問2

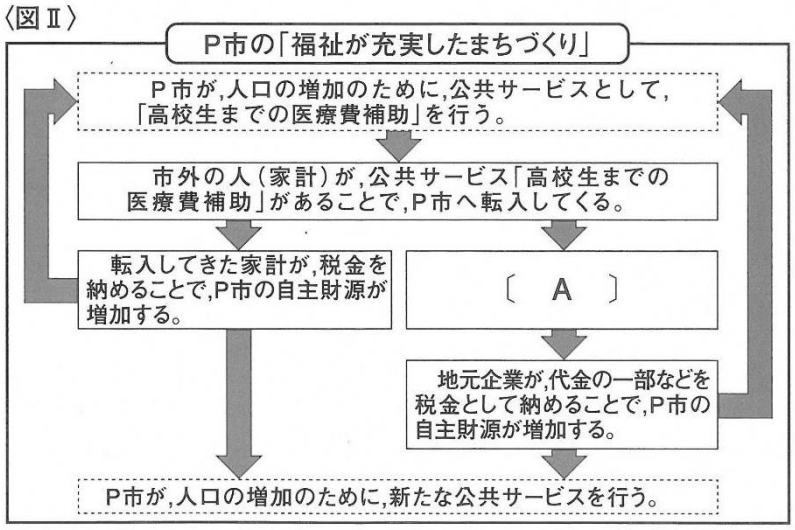
○　経済の三主体の関係についての知識（概念）についての認識をみる。

【問題】
図Ⅰは，家計と企業と地方公共団体の関係を，図Ⅱは，P市の「福祉が充実したまちづくり」に期待される効果を示している。図Ⅱの〔A〕にあてはまる適切な内容を，図Ⅰに示す語句を使って，「家計が財やサービスを」の書き出しで書け。

〈図Ⅰ〉



〈図Ⅱ〉



【正答】
（例）（家計が財やサービスを）消費することで，企業へ代金が支払われる。

授業場面で（「現代社会のしくみ《概念》」を働かせる学習活動のある授業）

※授業の最初に，図Ⅰを使い，経済の三主体間の関係について復習する。

導入

先生の住むP市は，財源が厳しいにもかかわらず，高校生までの医療費を補助しています。なぜ，このような取組をするのでしょう？

図Ⅰの矢印から，公共サービスを提供することで，税金が入るからじゃないかな？

図Ⅰの矢印は，地方公共団体が，家計などからの税金を得て，公共サービスを提供していることを意味しているのよ。

対価が得られないならP市にとっては負担が増えます。それでもこの取組を続けているのは謎ですね。では，今日のめあては何にしましょう？

Point
図ⅠにP市の施策を位置付けることで，三主体の関係を整理しやすく，必然的な学習のめあてづくりができます。

展開

魅力的な公共サービスをアピールすることで，P市の人気が高まるからじゃないかな。

そうだね。人気が出てP市の人口が増えれば，P市に入る税金も増えるしね。

では，図Ⅱをみてください。これは，P市のまちづくりの考え方です。みなさんの言うように①，②の流れで財源を増やそうとしていますね。では，空欄の〔　A　〕に何が入れば，財源が増えるのでしょう？

Point
図Ⅱは，生徒が自分なりに論理付けて説明したタイミングで提示し，考えの構造を順序付け（見える化）することで概念形成を促します。

企業からP市へ納める税金が増えるということは，P市に新しい企業が増えるからじゃないかな？

でも，図Ⅱの③には，地元企業って書かれているよ。

P市の人口が増えることで，地元企業からP市への納税額が増える仕組みって本当にあるのかな？

ではみなさん，図Ⅰの③の税金の矢印に着目してください。企業からの納税額が増えるということは，何が影響していると考えられるかな？（**※影響を及ぼしそうな矢印を選択させ，理由付けさせる。**）

終末

あっ，家計からの代金だ！

えっ，それはどうして？

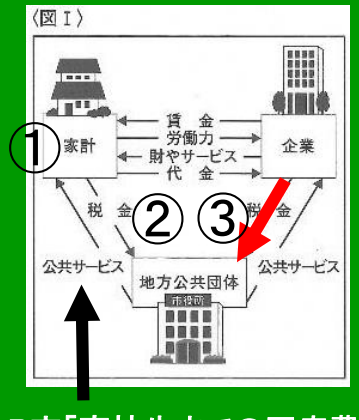
P市の人口が増えれば，地元企業から財やサービスを多く購入するよね。つまり，家計から企業への代金が増えるよね。そして，企業の利益が増えれば，P市へ納める税金も増えるという仕組みなんじゃないかな。

図Ⅱの①～③がつながりましたね。では今の説明や黒板の内容をもとに，改めてP市が公共サービスを充実させる理由を，ノートに書いてみましょう。

Point
生徒の発言や板書を基にした「書く」活動を取り入れることで，概念形成がより確かなものになります。

めあて　P市が公共サービスを充実させる理由を考えよう。

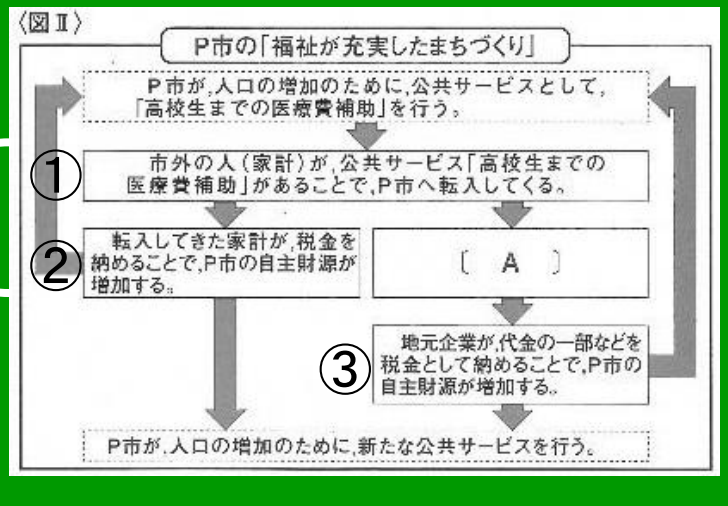
図Ⅰ　経済の三主体の関係



P市「高校生までの医療費補助」

筋の通ったしくみ
①人口増加
↓
②税収増加

図Ⅱ　P市のまちづくりの考え方



①　→〔A〕　→　③の順で筋の通ったしくみに！

①　人口増加
↓
〔A〕消費活動の増加
↓
企業の利益の増加
↓
③　企業からの納税の増加

まとめ
P市は，公共サービスを充実させることで，人口を増やし，自主財源を確保しようとしている。